平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年８月１日

上場会社名　　株式会社インプレスホールディングス　　上場取引所　東
コード番号　　9479　　ＵＲＬ　http://www.impressholdings.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）関本　彰大
問合せ先責任者　（役職名）取締役/執行役員CFO　　（氏名）山手　章弘　　ＴＥＬ　03（5275）9011

四半期報告書提出予定日　　平成25年８月13日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	2,383	△7.4	△81	－	△73	－	△95	－
25年３月期第１四半期	2,572	△4.4	58	56.6	50	21.9	124	91.1

（注）包括利益　26年３月期第１四半期　△171百万円（－%）　25年３月期第１四半期　704百万円（802.4%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	△2.79	－
25年３月期第１四半期	3.47	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年３月期第１四半期	12,332	8,025	64.5	232.69
25年３月期	12,944	8,127	62.3	235.71

（参考）自己資本　26年３月期第１四半期　7,955百万円　25年３月期　8,059百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	－	－	0.80	0.80
26年３月期	－				
26年３月期（予想）		－	－	0.40 ～1.00	0.40 ～1.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	5,400 ～5,500	－	40 ～100	－	25 ～60	－	0.73 ～1.75
通期	10,700 ～11,100	－	60 ～180	－	40 ～110	－	1.17 ～3.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有
　　（注）詳細は、添付資料P. ６「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	37,371,500株	25年３月期	37,371,500株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	3,181,386株	25年３月期	3,180,846株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	34,190,429株	25年３月期１Ｑ	35,897,971株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

　この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

　本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 5
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明…… 5
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 6
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 6
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 6
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 6
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 6
４．四半期連結財務諸表 …… 7
（１）四半期連結貸借対照表 …… 7
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 9
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 9
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 10
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（セグメント情報等） …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における主な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

前連結会計年度において持分法適用の関連会社でありました㈱メディカルトリビューンは、平成25年２月において、株式の一部を譲渡し、関連会社ではなくなりました。同影響により、当第１四半期連結累計期間より、医療セグメントは当社の連結範囲から除外されております。

事業セグメント区分	事業区分		事業内容	主要な会社
IT （IT分野に関するメディア及び関連サービス事業）	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱インプレスR&D ㈱インプレスビジネスメディア ㈱インプレスジャパン ㈱Impress Watch 英普麗斯(北京）科技有限公司
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
		ターゲット	ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等	
	サービス事業		販促物等の受託制作及びその周辺サービス	
音楽 （音楽分野に関するメディア及び関連サービス事業）	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱リットーミュージック
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍、映像製品等の企画制作、販売及び広告収入等	
デザイン （デザイン分野に関するメディア及び関連サービス事業）	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱エムディエヌコーポレーション
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍等の企画制作、販売及び広告収入等	
山岳・自然 （山岳・自然分野に関するメディア及び関連サービス事業）	メディア事業	デジタル	デジタルメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱山と溪谷社
		出版	出版流通を主な販売チャネルとした雑誌、ムック、書籍、映像製品等の企画制作、販売及び広告収入等	
モバイルサービス (モバイル関連のメディア及びサービス事業)	メディア事業	ターゲット	ユーザー属性の明確な顧客層を対象としたメディアの企画制作、販売及び広告収入等	㈱ICE ㈱デジタルディレクターズ
	サービス事業		電子書籍の企画制作、モバイル端末向けサービスの企画・開発・運営等	
その他			出版事業等、電子出版等の事業開発及びR&D	㈱近代科学社 Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 出版営業支援及び物流・販売管理等	㈱インプレスホールディングス（当社） ㈱インプレスコミュニケーションズ

（当第１四半期連結累計期間の業績全般の概況）

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んでおり、セグメント利益は、経常利益をベースとしております。

当第１四半期連結累計期間につきましては、大手電子書店の本格的な市場参入やスマートフォン・タブレット端末・電子書籍専用端末などの出荷拡大により電子書籍等の販売が増加いたしましたが、メディア事業における広告収入の減少及び雑誌の出荷の減少、収益性を重視した新刊タイトルの圧縮等の施策による書籍の販売減少により、減収となりました。

これらの結果、売上高は前年同期（2,572百万円）に比べ189百万円減少し、2,383百万円となりました。また、コスト削減に努めたもののメディア事業の減収を補えず、経常利益は前年同期（50百万円）に比べ124百万円減少し、73百万円の経常損失となりました。前年同期は投資有価証券の売却等による特別利益111百万円が計上されておりましたが、当第１四半期連結累計期間におきましては特別利益の計上はなく、前年同期の四半期純利益124百万円から220百万円減少し、95百万円の四半期純損失となっております。

①IT

■メディア事業

デジタルメディアにつきましては、電子書籍市場の拡大により、電子書籍等のコンテンツ販売が増加しましたが、主力のデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」（http://www.watch.impress.co.jp/）等の広告収入が減少し、減収となりました。

出版メディアにつきましては、デジタルカメラ関連の出版物の販売は堅調に推移しましたが、雑誌の販売が減少いたしました。また、書籍につきましては、既刊書籍は返品の減少等により堅調な推移となりましたが、収益性を重視した新刊タイトルの圧縮等の施策により出荷が減少、出版メディアの売上は減少いたしました。

ターゲットメディアにつきましては、登録顧客向けのメディア事業が主な事業であり、広告収入等が収益の中心となっております。同事業につきましては、モバイルサービスセグメントからの事業の一部移管により広告売上が増加したことに加え、ターゲット広告が好調に推移し、増収となりました。

これらの結果、メディア事業の売上高は、ターゲットメディアが堅調に推移したものの、出版メディアの減収により、前年同期（847百万円）比6.5%減の792百万円となりました。

■サービス事業

サービス事業は、販促物等の受託制作及びセミナー等のサービスが中心となっております。

受託制作等のサービスにつきましては、ターゲットメディアと連携したセミナー等のイベント収入が好調に推移しましたが、中国の市場環境の変化に伴う中国市場向けの制作受託等の減少により、減収となりました。

これらの結果、サービス事業の売上高は、前年同期（254百万円）比4.0%減の244百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、メディア事業等の減収により、前年同期（1,101百万円）比5.9%減の1,037百万円となりました。セグメント利益では、減収をコスト削減で補えず、前年同期（21百万円）と比べ21百万円利益が減少し、0百万円となりました。

②音楽

■メディア事業

音楽セグメントは、出版メディアが中心となっております。当第１四半期連結累計期間につきましては、電子書籍の販売や楽器購入者向けの購買支援サイト「楽器探そう！デジマート」（http://www.digimart.net/）における楽器店からの登録料収入は増加しましたが、雑誌の出荷及び広告収入の減少、書籍の返品の増加により出版の販売等が減少し、減収となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、出版メディアの減収により、前年同期（606百万円）比14.0％減の521百万円となりました。セグメント利益では、減収をコスト削減で補えず、前年同期（65百万円）比80.3％減の12百万円の利益となりました。

③デザイン

■メディア事業

デザインセグメントは、出版メディアが中心となっております。当第１四半期連結累計期間につきましては、既刊書籍の出荷が減少いたしましたが、新刊タイトルの増加による書籍の販売や既刊ムックの出荷が堅調に推移し、またWebサイトにおける広告収入が堅調な推移となったことで、全体として増収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（137百万円）比5.5%増の145百万円となりました。セグメント利益では、増収も収益性が低下したことで、前年同期（4百万円損失）と比べ15百万円損失が増加し、19百万円の損失となりました。

④山岳・自然

■メディア事業

山岳・自然セグメントは、出版メディアが中心となっております。当第１四半期連結累計期間につきましては、電子書籍等のデジタルコンテンツ及びムック販売は堅調に推移し、富士山の世界文化遺産登録を受け、既刊書籍等の出荷も堅調な推移となりましたが、書籍の刊行の遅れ等による刊行タイトル数の減少に加え、雑誌の出荷及び広告収入が減少し、減収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（476百万円）比6.8％減の443百万円となりました。セグメント利益では、減収と固定費等のコストの増加により、前年同期（95百万円）比48.7％減の49百万円の利益となりました。

⑤モバイルサービス

モバイルサービスセグメントは、モバイル端末向けのコンテンツ制作、配信ソリューション及び関連サービスの提供が中心となっております。当第１四半期連結累計期間につきましては、スマートフォン向けのコミック関連サービス及び電子書籍の制作受託収入が増収となりましたが、フィーチャーフォン向けのサービスの市場縮小により、運営及び制作受託収入が減少、加えてITセグメントに一部の事業を移管した影響で、減収となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期（183百万円）比14.3％減の157百万円となりました。セグメント利益では、減収を固定費等の削減で補えず、前年同期（15百万円）比38.1%減の9百万円の利益となりました。

⑥その他

その他セグメントにつきましては、理工系大学向けの書籍販売の増加等により、売上高は前年同期（54百万円）比15.8％増の62百万円となりました。セグメント利益では、前年同期（2百万円）から4百万円増加し6百万円の利益となりました。

⑦全社

全社セグメントは、グループの戦略策定及び経営管理等の機能を担う当社と、物流・販売管理機能を担う株式会社インプレスコミュニケーションズが区分されており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラの使用料及びグループ会社や出版社を中心とするパートナー会社の物流・販売管理に伴う手数料収入を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分につきましては、売上高は、パートナー出版社との協業の拡大により、手数料収入が増加いたしましたが、グループ会社からの配当収入が減少したことなどにより、前年同期（503百万円）比24.3％減の380百万円となりました。全社セグメントの利益は、前年同期（120百万）から109百万円利益が減少し、11百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

第１四半期連結会計期間末の資産につきましては、季節要因により受取手形及び売掛金が減少し、また保有する投資有価証券の時価の変動に伴う減少等により、前連結会計年度末に比べ611百万円減少し、12,332百万円となりました。負債につきましては、借入金の返済により有利子負債が103百万円、また季節要因により仕入債務等が減少したこと等により、509百万円減少し4,307百万円となりました。純資産につきましては、四半期純損失の計上に加え、投資有価証券の時価の変動に伴いその他評価差額金が98百万円減少したこと等により、102百万円減少し8,025百万円となりました。

純資産から新株予約権及び少数株主持分を引いた自己資本は7,955百万円となり、自己資本比率は64.5％と前連結会計年度末（62.3％）に比べ2.2ポイント上昇しました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第１四半期連結累計期間における業績動向につきましては、新刊タイトルの減少により前年同期比では書籍の売上高が大きく減少していますが、当連結会計年度につきましては収益性を考慮し新刊タイトル数を圧縮する計画としており、書籍につきましては想定のレンジ内での進捗となっております。一方、メディアの広告収入及び雑誌の販売等は想定を下回った推移となっておりますが、既刊書籍の販売が想定より堅調な推移となっていることに加え、電子書籍の販売等が増加の傾向にあり、当初業績予測のレンジ内での業績推移となっております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,140,528	4,427,899
受取手形及び売掛金	3,974,490	3,169,472
有価証券	1,194,854	1,300,251
商品及び製品	1,040,164	1,098,744
仕掛品	98,125	83,007
繰延税金資産	88,164	85,149
その他	143,545	157,007
返品債権特別勘定	△28,500	△29,700
貸倒引当金	△11,661	△13,092
流動資産合計	10,639,711	10,278,739
固定資産		
有形固定資産	146,437	151,170
無形固定資産		
ソフトウエア	153,244	163,642
その他	14,547	14,154
無形固定資産合計	167,792	177,796
投資その他の資産		
投資有価証券	1,612,525	1,360,571
繰延税金資産	54,511	41,485
その他	575,542	574,951
貸倒引当金	△251,723	△251,807
投資その他の資産合計	1,990,856	1,725,200
固定資産合計	2,305,086	2,054,167
資産合計	12,944,797	12,332,906

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,413,713	1,215,015
短期借入金	675,100	700,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	439,336	402,336
未払法人税等	49,200	29,688
賞与引当金	132,361	45,285
返品調整引当金	202,705	174,536
その他	728,623	708,541
流動負債合計	3,681,039	3,315,402
固定負債		
長期借入金	360,628	269,194
繰延税金負債	95,189	32,175
退職給付引当金	678,580	688,922
その他	1,425	1,425
固定負債合計	1,135,823	991,716
負債合計	4,816,862	4,307,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	2,199,308	2,199,308
利益剰余金	960,282	934,526
自己株式	△619,206	△619,283
株主資本合計	7,881,405	7,855,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172,142	73,255
為替換算調整勘定	5,578	26,736
その他の包括利益累計額合計	177,721	99,992
新株予約権	16,840	16,840
少数株主持分	51,967	53,381
純資産合計	8,127,934	8,025,787
負債純資産合計	12,944,797	12,332,906

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	2,572,625	2,383,137
売上原価	1,560,647	1,535,035
売上総利益	1,011,977	848,102
返品調整引当金戻入額	11,699	26,968
差引売上総利益	1,023,677	875,070
販売費及び一般管理費	965,076	956,307
営業利益又は営業損失（△）	58,601	△81,237
営業外収益		
受取利息	4,563	4,313
受取配当金	4,769	430
為替差益	－	4,641
貸倒引当金戻入額	676	488
その他	2,935	4,432
営業外収益合計	12,945	14,306
営業外費用		
支払利息	4,695	4,490
持分法による投資損失	10,655	－
為替差損	5,000	－
貸倒引当金繰入額	－	2,000
その他	291	273
営業外費用合計	20,643	6,764
経常利益又は経常損失（△）	50,903	△73,694
特別利益		
投資有価証券売却益	99,717	－
新株予約権戻入益	11,646	－
特別利益合計	111,364	－
特別損失		
固定資産除却損	1,421	－
その他	700	－
特別損失合計	2,121	－
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	160,146	△73,694
法人税等	32,550	20,251
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	127,596	△93,945
少数株主利益	2,952	1,414
四半期純利益又は四半期純損失（△）	124,643	△95,359

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	127,596	△93,945
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	568,255	△98,890
為替換算調整勘定	8,369	21,158
持分法適用会社に対する持分相当額	61	－
その他の包括利益合計	576,686	△77,732
四半期包括利益	704,283	△171,677
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	701,330	△173,091
少数株主に係る四半期包括利益	2,952	1,414

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント							その他（注）１	調整額（注）３	四半期連結財務諸表計上額（注）２
	ＩＴ	音楽	デザイン	医療	山岳・自然	モバイルサービス	計			
売上高	1,101,924	606,310	137,647	－	476,082	183,754	2,505,720	54,145	12,759	2,572,625
セグメント利益又はセグメント損失	21,559	65,015	(4,569)	(10,655)	95,974	15,134	182,459	2,263	(133,819)	50,903

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・受託制作・デジタルコンテンツ販売及び配信受託事業等が含まれております。

２．セグメント利益は、調整を行い、連結損益計算書の経常利益と一致しております。

３．調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△133,819千円には、事業セグメント以外の売上高23,481千円、セグメント間取引消去△10,721千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△149,603千円、その他調整額3,024千円が含まれております。

当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年６月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						その他（注）１	調整額（注）３	四半期連結財務諸表計上額（注）２
	ＩＴ	音楽	デザイン	山岳・自然	モバイルサービス	計			
売上高	1,037,038	521,530	145,179	443,526	157,556	2,304,831	62,680	15,625	2,383,137
セグメント利益又はセグメント損失	9	12,805	(19,674)	49,252	9,364	51,757	6,368	(131,819)	(73,694)

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版事業等、電子出版等の事業開発及びR&Dが含まれております。

２．セグメント利益は、調整を行い、連結損益計算書の経常利益と一致しております。

３．調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△131,819千円には、事業セグメント以外の売上高27,567千円、セグメント間取引消去△11,942千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△152,393千円、その他調整額4,948千円が含まれております。

４．医療セグメントは、㈱メディカルトリビューンの株式の一部を譲渡し、関連会社でなくなったため、報告セグメントから除外されております。